

# みんなで大豊町を「有機の里」にしよう！

大豊町は今、若い有機栽培農家が元気です



## 有機は高知の大豊で！

大豊町は四国のほぼ真ん中にある、人口約 4,300 人の小さな町です。近隣の本山町・土佐町・大川村と合わせて嶺北地域と呼ばれています。平成 17 年に有機農業研修施設（有機のがっこう「土佐自然塾」）が開設され、有機栽培に取り組む農家の育成が始まりました。その卒業生や有機農業に関心を寄せる若者たちが今、嶺北地域で就農し活躍しているため、有機農家の就農戸数は県内でもトップクラスです。嶺北地域は有機農業に対する支援体制も充実しており、今後の展開が最も期待される分野となっています。あなたも大豊町で有機栽培に挑戦してみませんか。

## 次のような方を求めています

大豊町では、雨除けミニトマトや露地ショウガを経営の柱として営農に励む、若い有機栽培農家が増えてきており、経営も向上しています。先人に学び、更に柔軟な取り組みでよりよく発展していく、そんな方を大豊町は待ち望んでいます。

- ・ 年齢 40 才以下で大豊町に居住し就農できる方
- ・ 地域の担い手として地域活動に参加できる方
- ・ 手間をかけてでも有機農業を実践しようとするしっかりした考えのある方

※「大豊町担い手育成総合支援協議会」による面接選考を行います。ご了承ください。

- ・ 研修期間中や就農当初の生活費、初期経費として 300 万円程度は必要です！

# 独自の就農支援体制を整えています

## 《有機農業実践農家での研修》

大豊町では実績のある雨除けミニトマト（および露地ショウガ）栽培農家のもとで1～2年間の実践研修を行います。

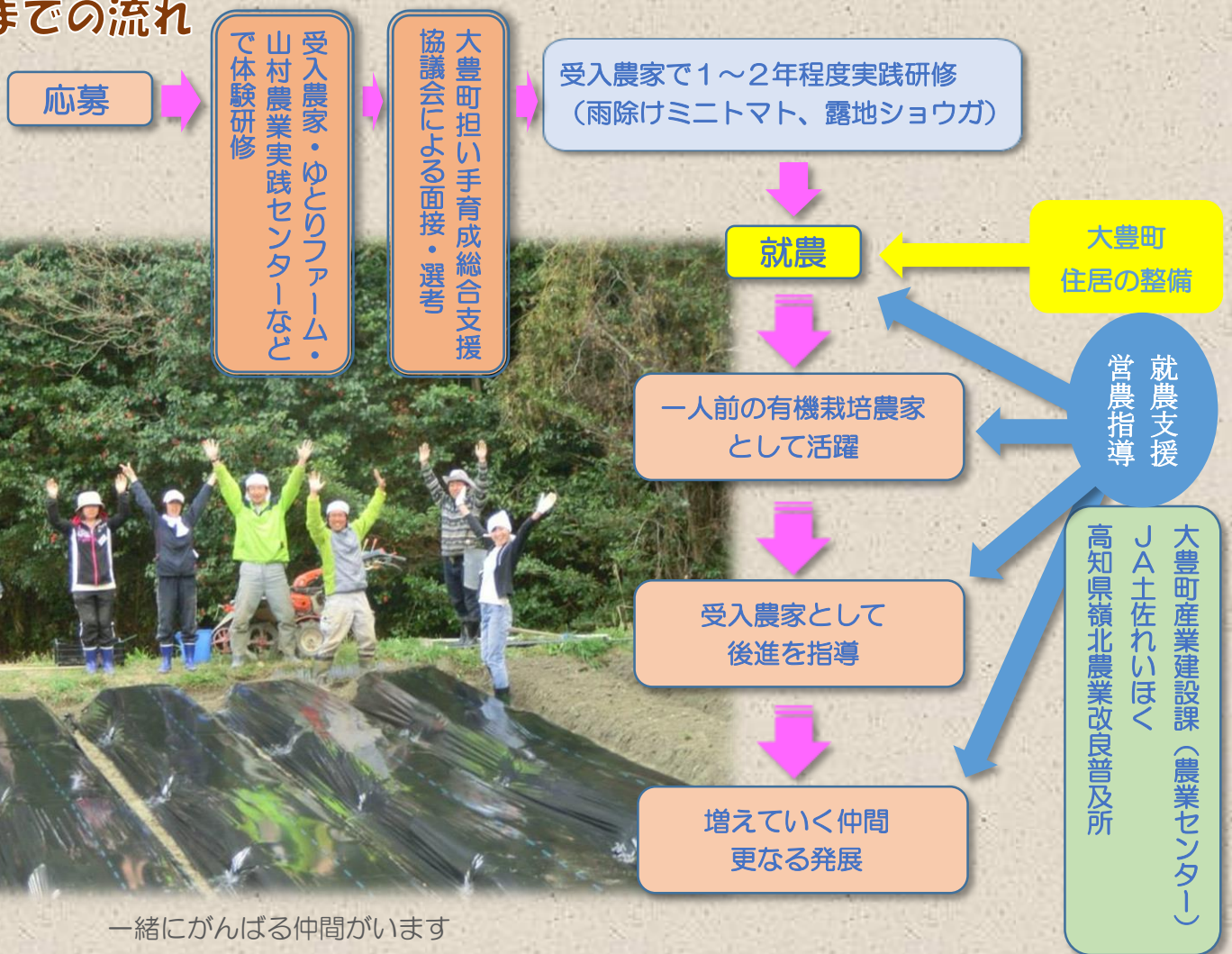
## 《経済的支援》

国・県・町の支援制度を活用し、研修中の費用などを最長2年間、年間180万円を支給します。ただし、受給には条件があり、助成を受けられない場合があります。また、研修終了後1年以内に就農しなかった場合は全額返還していただきます。

## 《就農支援》

研修終了後は大豊町内で就農となります。農地は農業センターを中心に、受入農家や関係機関を交え適地を選定し紹介します。園芸用ハウスは県や町の事業を活用し、自己負担を少なくして建設できます。住居は大豊町が移住者用住宅を整備予定です。ご希望に添えなかった場合は、ご自分で探していただくこととなります。

## 就農までの流れ



## 募集主体及び募集期間などについて

- 募集主体：大豊町産業建設課
- 募集期間と募集人員：毎年4～1月（随時対応）、定員2名  
ただし定員になり次第、締め切らせていただきます。
- 研修開始：平成28年4月を予定しています
- 住居や就農地の相談については大豊町産業建設課（大豊町農業センター）が対応します。

問い合わせ先

○大豊町産業建設課（農業センター）  
○長岡郡大豊町黒石 343 番地 1  
電話：0887-73-0978  
FAX：0887-73-1004  
e-mail：a-mino@town.otoyo.lg.jp